



2007年3月期(第10期)

# 中間決算説明会

日時:2006年11月10日(金)

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめ様々な要因により、見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

**株式会社ブイ・テクノロジー**



2007年3月期中間決算概要

# 連結業績ハイライト(前年同期比)



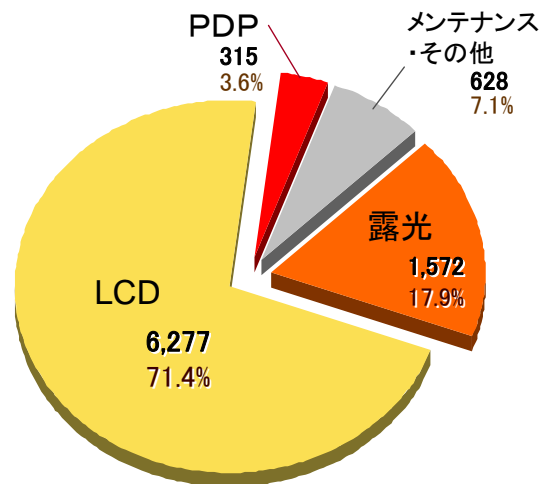
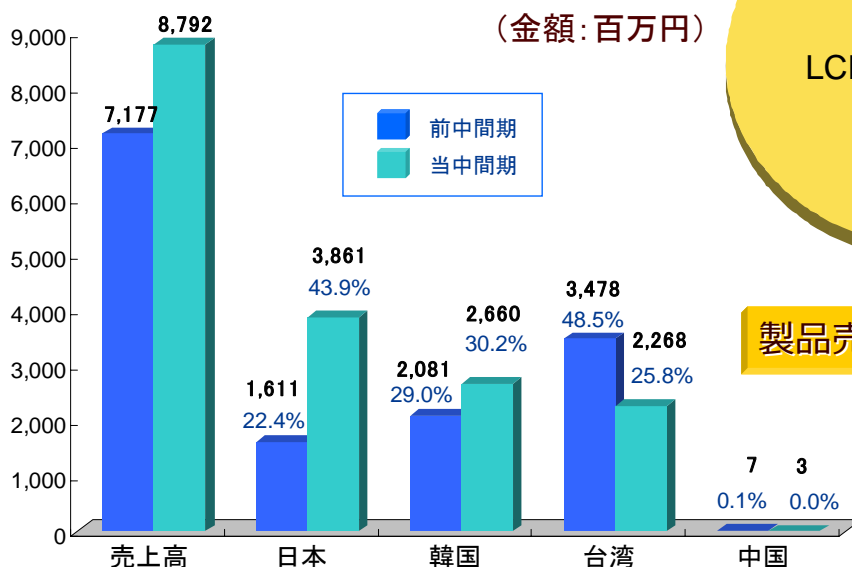
(金額:百万円)

	前中間期		当中間期		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	7,177	100.0%	8,792	100.0%	22.5%
売上総利益	1,945	27.1%	1,820	20.7%	▲6.4%
営業利益	1,027	14.3%	754	8.6%	▲26.6%
経常利益	1,009	14.1%	739	8.4%	▲26.8%
当期純利益	577	8.0%	459	5.2%	▲20.5%

# 地域別／製品別連結売上高



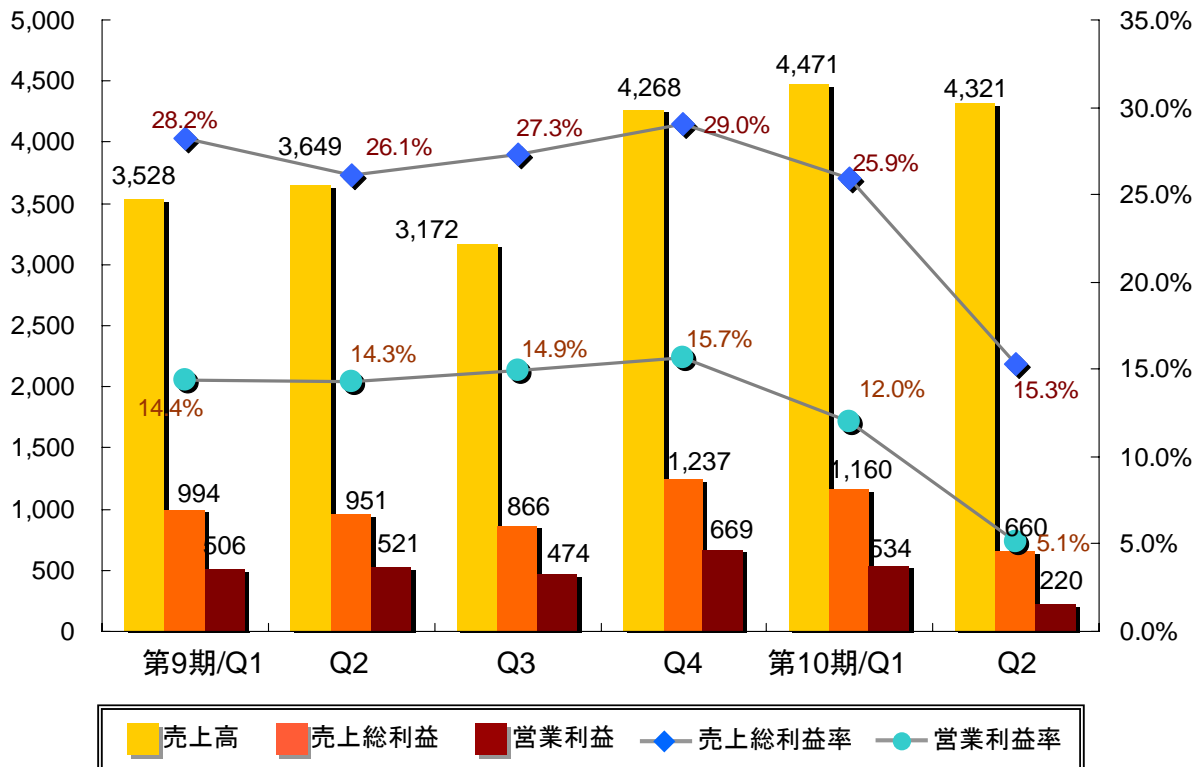
## 地域別売上高 (前年同期比)



# 四半期毎連結売上高・利益推移



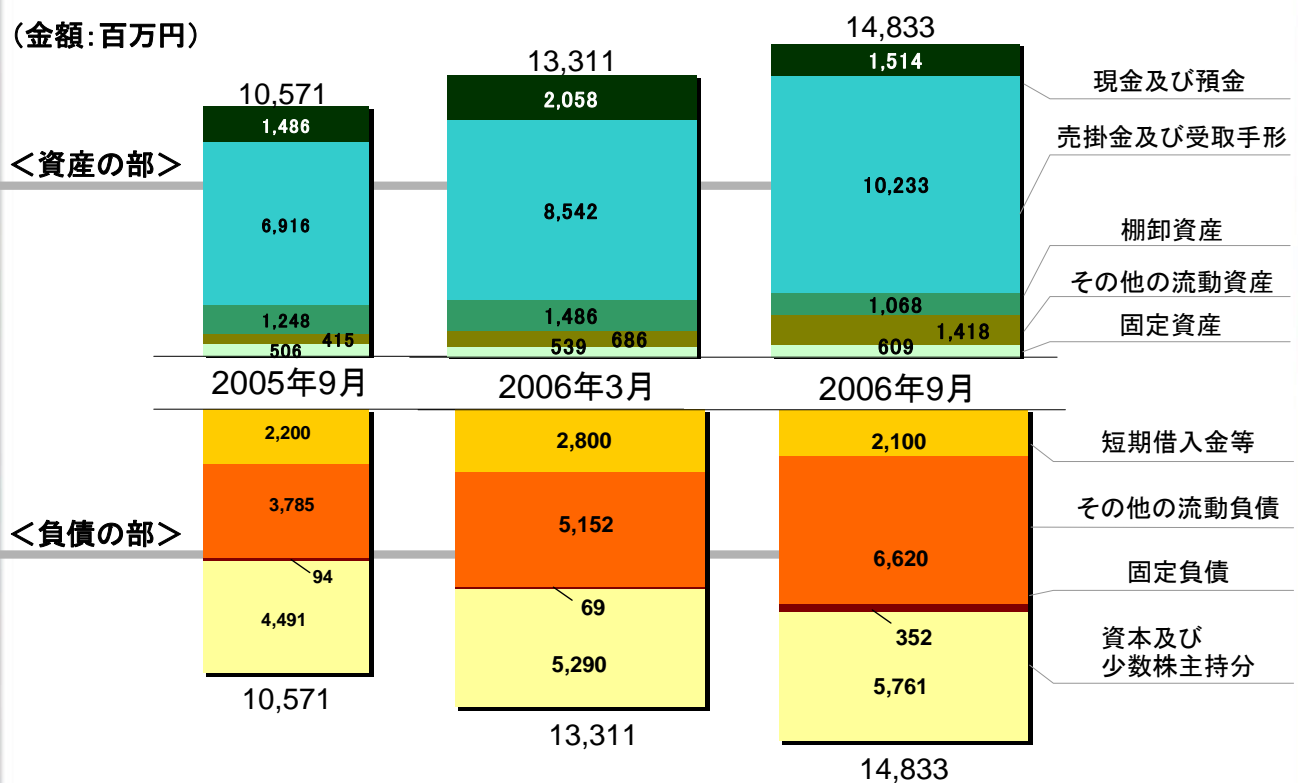
(百万円)



# 連結貸借対照表



(金額:百万円)



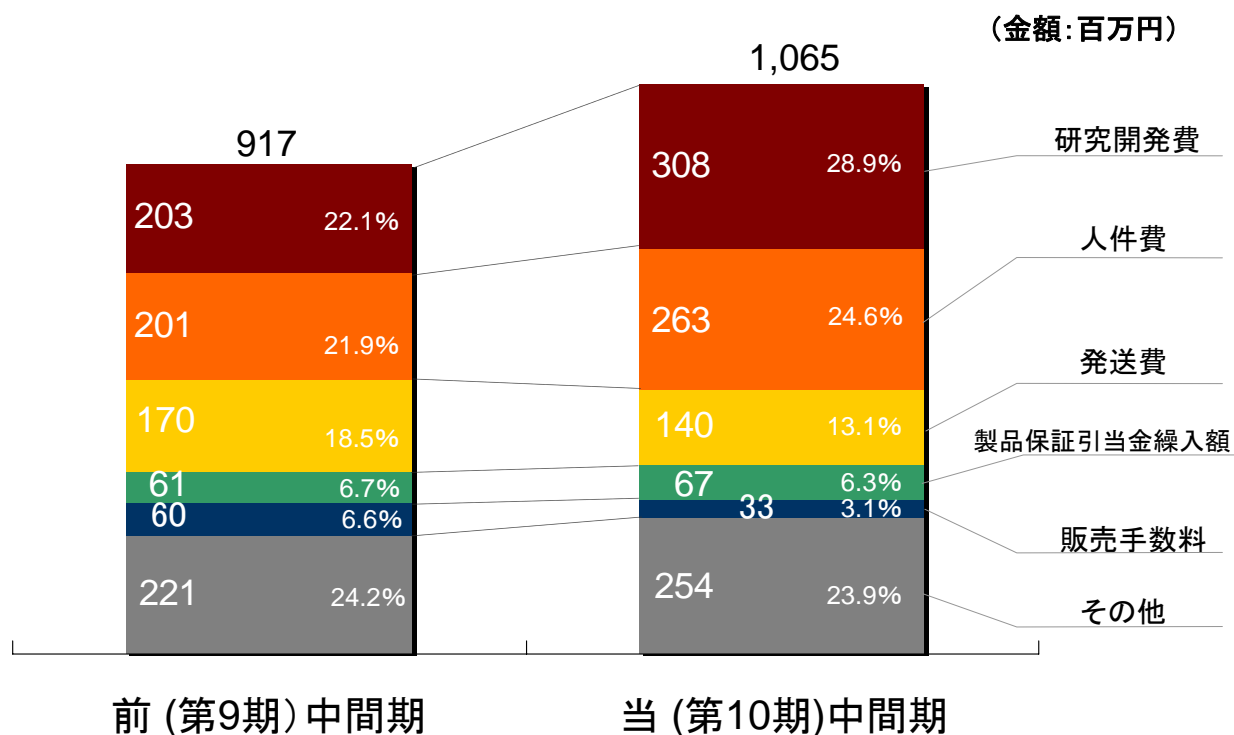
# 連結キャッシュフロー



		(金額:百万円)		
		05/09	06/03	06/09
期首現金及び現金同等物残高		900	900	2,058
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前純利益	1,006	2,072	734
	売上債権 (増加▲)	▲ 2,006	▲ 3,618	▲ 1,675
	在庫 (増加▲)	343	107	417
	仕入債務 (減少▲)	103	749	1,752
	その他	240	335	▲ 1,217
		▲ 314	▲ 355	11
投資活動によるキャッシュ・フロー		▲ 121	▲ 199	▲ 138
財務活動による キャッシュ・フロー	借入	9,300	20,650	10,830
	返済	▲ 8,325	▲ 19,087	▲ 11,255
	その他	42	146	▲ 2
		1,017	1,709	▲ 428
現金及び現金同等物に係わる換算差額		2	2	10
現金及び現金同等物の増減額		585	1,157	▲ 544
期末現金及び現金同等物残高		1,485	2,058	1,514

7

# 主な販売費及び一般管理費



8



## ●TFT量産1号機における不具合対策

設計変更や部品再作製、更に現地改造工事に伴う労務費の増加により製造原価を約450百万円アップさせ、想定の粗利の確保が困難になった。

現在は不具合対策をほぼ完了させ、パネル評価に入っている。  
年度内に評価を完了してもらい、次の受注を期待。

## ●CF量産1号機を受注

マスクのランニングコストを大幅削減・歩留り向上でCF製造のコスト削減に寄与する新方式露光装置として期待され、このほど量産1号機を受注。来期に客先納入。

これにより、IJ法など様々なCFのコスト削減方法が提案されているが、EGISもその一端を担うことになる。



通期業績見通しと  
今後の方針について

# 通期連結業績予想



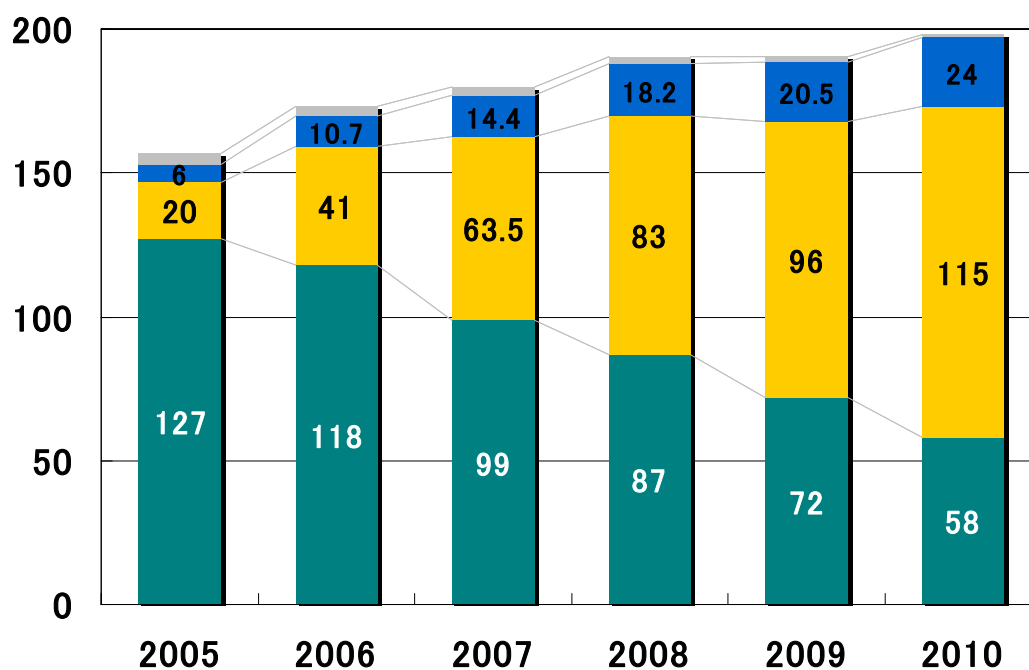
(金額:百万円)

	前期実績		今期予想				増減率
			上期実績		通期予想		
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	14,618	100.0%	8,792	100%	13,700	100.0%	▲6.3%
経常利益	2,096	14.4%	739	8.4%	750	5.5%	▲64.2%
当期純利益	1,251	8.6%	459	5.2%	450	3.3%	▲64.0%

# テレビ市場予測



(百万台) ■ CRT ■ LCD ■ PDP ■ Other



# 主なLCDパネルメーカーの設備投資動向



(検査関連装置設置時期ベース)

2006/10-12 (VTEC10期Q3)	■ シャープ Gen8 Ph3-1	■ 凸版印刷 Gen8 Ph2 (CF)	■ (中)Arrow Gen5 Ph1
2007/01-03 (VTEC10期Q4)	■ シャープ Gen8 Ph3-2	■ (韓)三星電子 Gen8 Ph1	■ (台)AUO (QDI) Gen6 Ph3
2007/04-06 (VTEC11期Q1)	■ シャープ Gen8 Ph3-3	■ 凸版印刷 Gen8 Ph3 (CF)	■ (台)CMO Gen6 Ph1-1
2007/07-09 (VTEC11期Q2)	■ シャープ Gen8	■ DNP Gen8 Ph1 (CF)	■ (中)SVA-Fuji Gen5 Ph1 (CF)
2007/10-12 (VTEC11期Q3)	■ (韓)LG Philips LCD Gen5.5 Ph1	■ (台)CMO Gen8 Ph1	■ (台)AUO Gen7.5-2 Ph1

13

## 新規開発装置



### ● PS高さ計測装置

従来はZygo社製光干渉式顕微鏡使用

➡ 音、気流、振動などの外乱で精度の安定性に欠ける

レーザ共焦点顕微鏡はピンホールをスキャンするため、タクトが遅い。

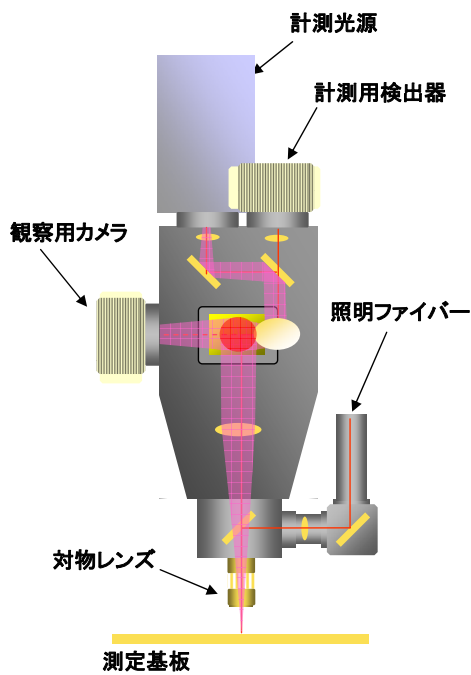
### ◆ 新測定ヘッド『Vega』

➡ レーザ共焦点顕微鏡にDMD (Digital Micro mirror Device) を使用し、非接触で高速・外乱に強く高精度な3次元測定が可能

・既に1台稼動中 (G8ライン向け)、2台受注済み。

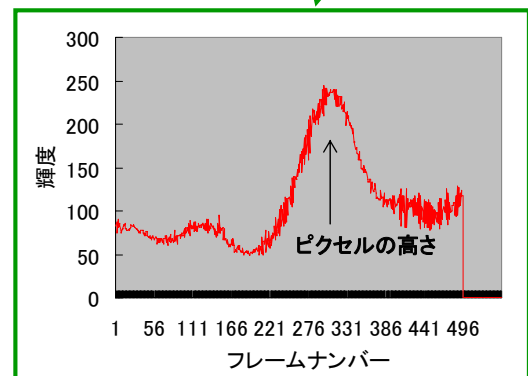
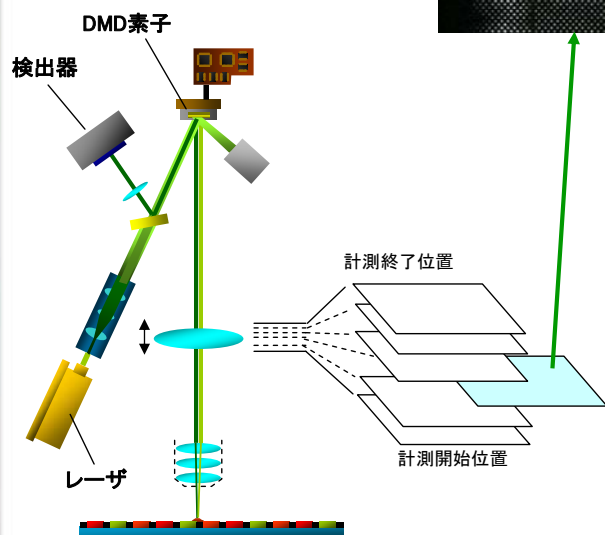
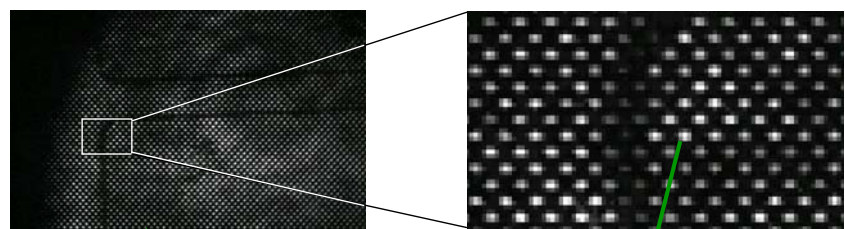
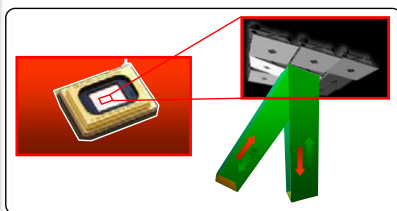
14

# 高さ計測ユニット - Vega -



項目	仕様(ユニット単体)
方式	高速共焦点レーザー顕微鏡方式
光源	LD励起CWLレーザー, 532nm, 150mW
高さ測定分解能	1nm
繰返し再現性	2 $\mu$ m測定, 30nm (3 $\sigma$ )以下
測定レンジ	< 10 $\mu$ m
視野範囲	約135 x 130 $\mu$ m
測定タクト	分解能 0.01 $\mu$ m    測定 1.250 sec 測定レンジ 5 $\mu$ m    処理 0.05 sec
	分解能 0.02 $\mu$ m    測定 0.625 sec 測定レンジ 5 $\mu$ m    処理 0.05 sec
	分解能 0.05 $\mu$ m    測定 0.250 sec 測定レンジ 5 $\mu$ m    処理 0.05 sec

# 高さ計測ユニット - Vega -

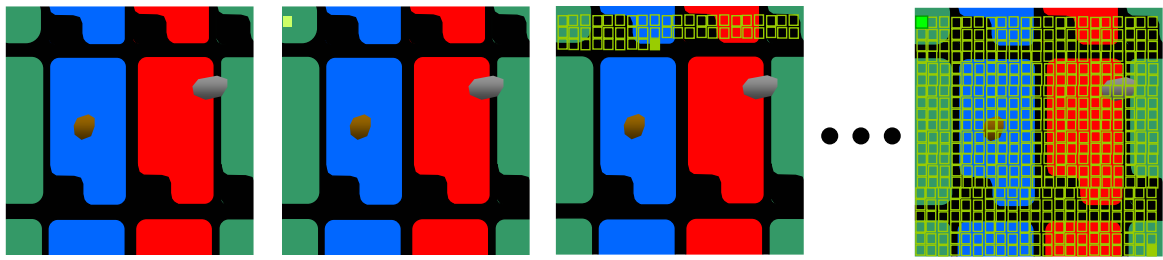




# 高さ計測ユニット – Vega -

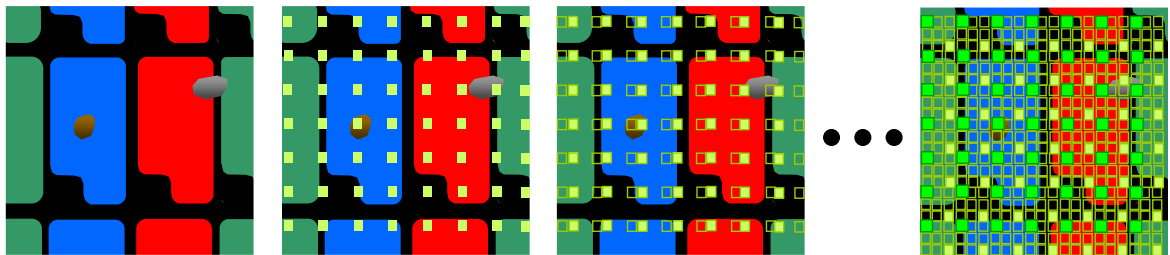


従来スキャン



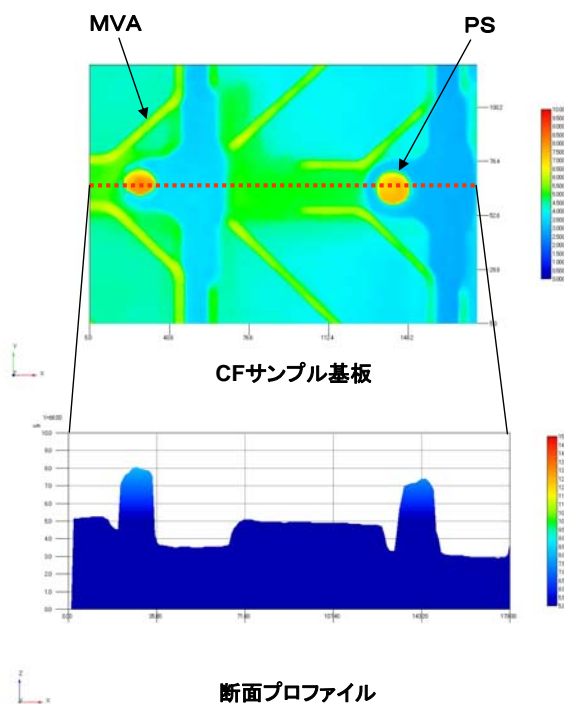
レーザースポットのマルチスキャンによりタクト向上

マルチスキャン

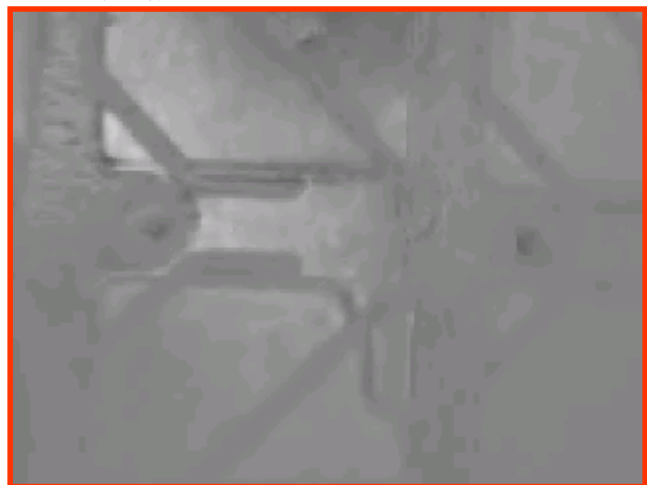


\*DMDミラーパターン 9種の場合

# 高さ計測ユニット – Vega -

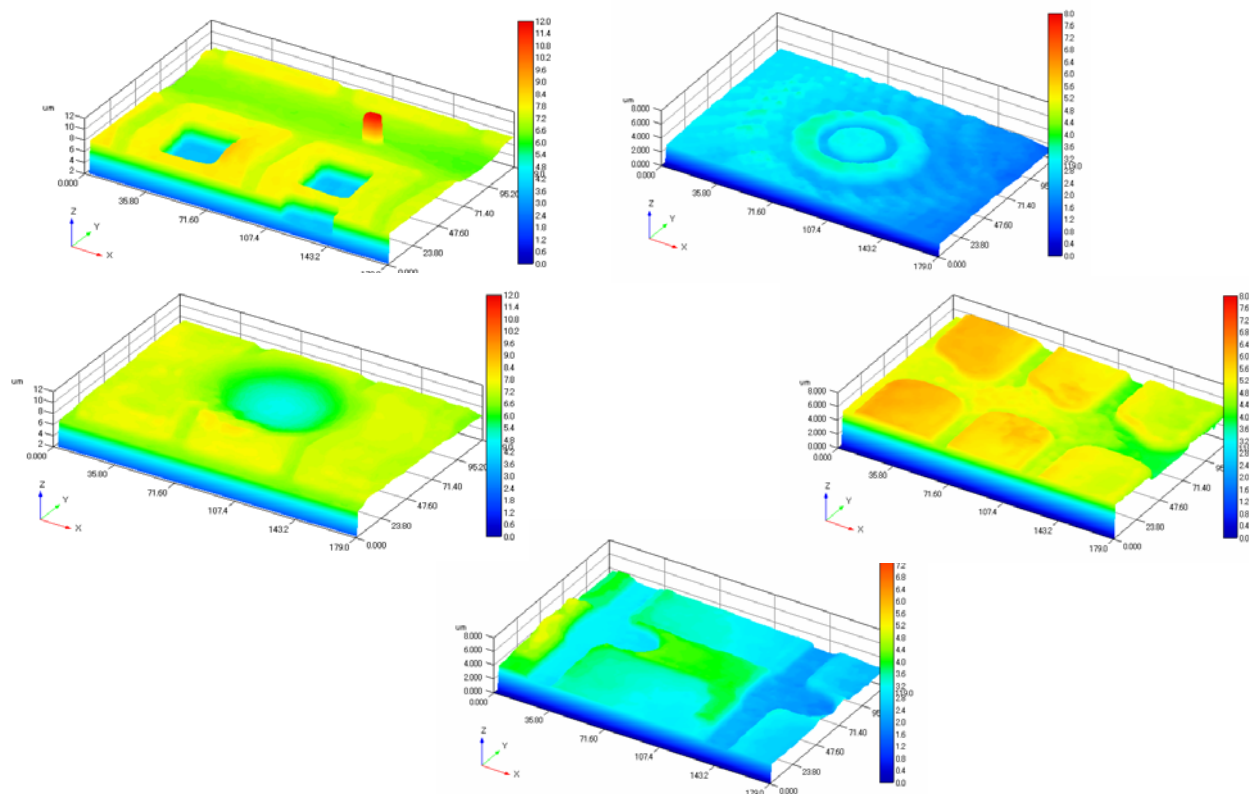


共焦点測定画像



Measure

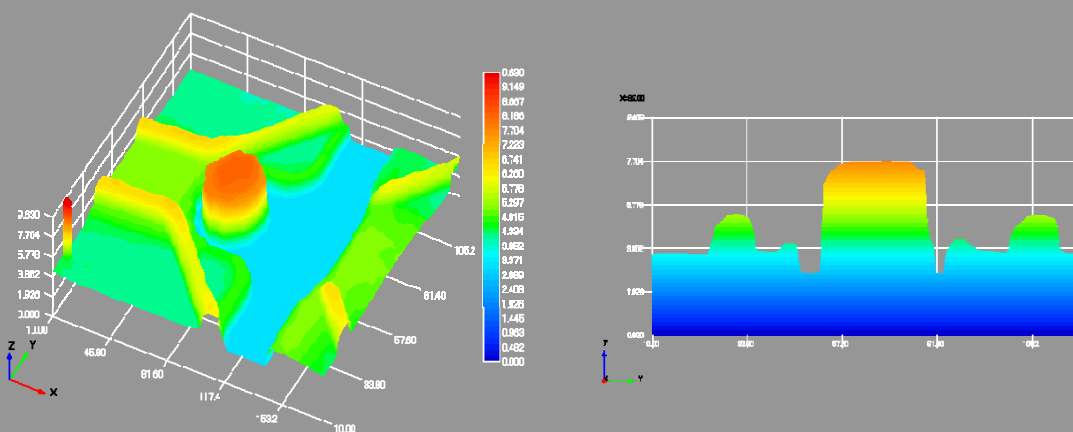
# 高さ計測ユニット – Vega -



# PS測定例



測定条件  
Z軸スキャン 20nm  
測定範囲 5 μm

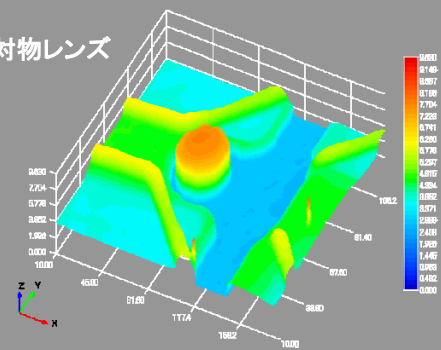


# 測定タクト

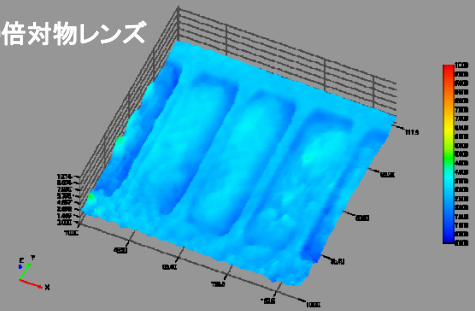


測定時間 (PS測定)	2.505 sec
移動速度	1500 mm/sec
加速度	3000 mm/sec <sup>2</sup>
加減速時間	0.5 sec
静定時間	0.8 sec
移動時間	1.43 sec (移動距離300 mm)
Auto Focus	0.4 sec
高さ測定時間	0.675 sec (Zスキャン 5 μm)
測定時間	1.075 sec
測定時間 (膜厚測定)	2.505 sec
測定動作	300 mm移動 Auto Focus (1回動作) R、G、B一括測定

50倍対物レンズ



10倍対物レンズ



Thanks for your attendance!